

記者発表（配付）資料

平成 21 年 12 月 25 日

所属部課	館 長	副 館 長	庶務係長	担 当	連絡先
歴史まちづくり部 萩博物館	高木正熙	樋口尚樹	植村 正	伊藤靖子	25-6447

件 名	年中無休！年末年始を萩博物館で
-----	-----------------

萩博物館は、自治体直営館としては、全国でもまれな年中無休で開館している博物館です。年末年始も特定非営利活動法人 N P O 萩まちじゅう博物館と協働で開館し、皆様のご来館をお待ちしています。

◆正月飾り・飾りつけ

萩博物館所蔵の萩藩主ゆかりの三方^{さんぽう}を使って正月飾りをし、来年の干支「寅」の大型パネルが出迎えます。

と き 12月28日（月）午前10時～（1月11日まで展示）

ところ 萩博物館エントランスホール

※ 沢瀉紋入三方^{おもだかさんぽう}

萩藩士乃美氏が藩主毛利氏から拝領した三方。「沢瀉紋」は、「一に三つ星紋」とともに毛利氏の家紋。隣の「菊花紋」は、毛利氏が朝廷から拝領した家紋。

※ 雲谷派絵師の「寅図」

雲谷派は雪舟の画法を受け継いだ萩藩のお抱え絵師で、江戸時代中期の1700年代前半に制作された屏風画のうちの寅図。屏風は六曲一雙で、一扇ごとに十二支の動物が描かれている。

◆N P O 萩まちじゅう博物館学芸サポート・古写真班活動展示

学芸サポート・古写真班が、大正期から昭和50年代にかけて撮影された、萩の町並みや催事、航空写真をテーマに沿って再出力し、エントランスホールで展示します。簡単なクイズも用意しています。市民の方、帰省された方々にも楽しんでいただける内容です。

◆企画展開催中

～タイムスリップ～ 城下町 萩のひみつ 1月28日まで

江戸時代の城下町絵図を、現在も地図として用いることができるまち・萩。4つのキーワード「低湿地」、「鉄道」、「夏みかん」、「災い」で、変わらない「まち」のひみつを追い、今に息づく城下町・萩を再発見する展覧会です。

■開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■休 館 日 なし ※年末年始も休まず開館

■観 覧 料 大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円、団体割引20人以上20%引、障害者割引20%引